PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター
2025 年 9 月 10 日

途上国での災害におけるこころのケアを支援
～阪神・淡路大震災などの災害の知見を世界へ～

世界では人口増加に伴う急速な都市化の進展、気候変動、社会的混乱など様々な要因により、自然あるいは人為的な災害が頻発し、多くの人々が被害に見舞われており、特に開発途上国に住む貧しい人々はより甚大な被害を受ける傾向にあります。また、財物や身体など物理的な被害だけでなく精神的な被害も大変深刻です。

独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA 関西）では、ウクライナをはじめアジア、アフリカなど 10 か国の開発途上国から被災者の「こころのケア」に取り組む 12 名を日本に迎え、各国の実情に応じた効果的な「こころのケア」を被災者に提供できる体制の構築に向けた協力を実施します。

災害における精神的な被害に対する「こころのケア」の重要性については、近年、国際的に認知されてきており、2015 年に採択された「仙台防災枠組」にも明記されているところです。
今回の協力は、「こころのケア」についての多様な機能を有する全国初の拠点施設として 2004 年に設立された「兵庫県こころのケアセンター」とともに、阪神・淡路大震災をはじめとした我が国における災害の経験や知見を世界に伝えていくものです。

以下日程で、プログラム参加者が学んだ内容を、帰国後に自国での体制構築にどう活用していくか、具体的な計画を考えて発表しますので、取材をぜひご検討ください。

＜日程＞
9/17（水）　9：30～12：00　アクションプラン発表会

- 言語：英語
- ご取材いただける場合は下記までご連絡下さい。

本件に関する 問い合わせ先	JICA 関西　研修業務課　仁志 TEL: 078-261-0386　E-mail: Nishi.Tsukasa@jica.go.jp